

追跡・所在管理サービス

LADOCsuite®/LogiTrace

IoTを活用して大切な輸送器材を見守ります

RFIDを使用して輸送器材の所在データを自動収集し、動きを見える化することで、管理者の負担軽減や適切な資産管理の実現など、物流コストの削減に貢献します。RFIDに含まれる個体番号はEPC※のコード体系に対応しており、サプライチェーンを意識したご利用が可能です。

特長

1 輸送器材と配送先の紐付け作業を自動化

RFIDを活用し輸送器材と配送先の情報を自動的に紐付けできます。据え置き型のリーダを利用することで、手作業での読み取り操作がなくなり、作業負担が軽減します。

2 取り扱い荷物に応じて多様な読み取り機器に接続可能

読み取り機器はクラウド通信部と機器制御部を分離したモジュール設計のため、お客様指定のRFID機器やその他デバイスも接続可能です。

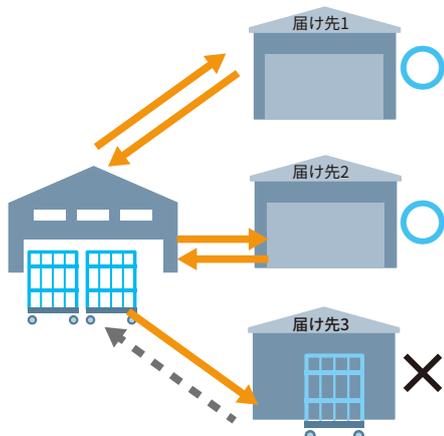
(注)アプリケーション開発が必要となる場合があります。

3 柔軟に選択・スケールアウト可能なクラウドサービス

利用する輸送器材数、または機器数に応じてサービスをご利用いただけます。月単位での変更や、スモールスタートも可能です。

導入効果

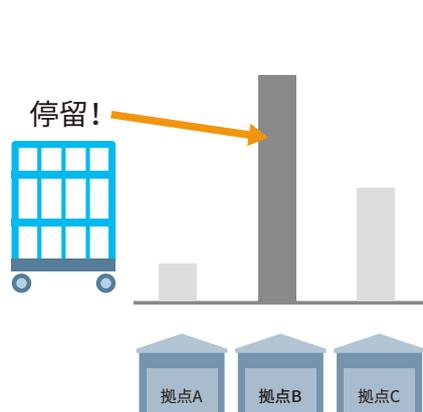
未返却器材を特定



届け先ごとに器材の受け払いをトレースする事で未返却器材を特定できます。

器材の追加購入コスト削減

停留・偏在器材を発見



使われずに眠っている器材や、適正量を超えて器材を保持している拠点が一目でわかります。

誤積載を防止



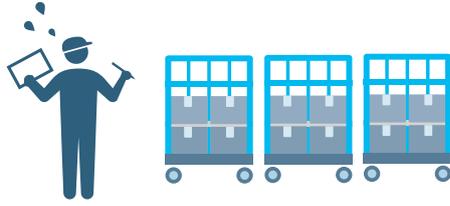
出荷予定にない貨物の積み込みを検知した場合、ランプなどでお知らせします。(注)アプリケーション開発が必要

作業品質改善

導入事例

Before

現場で、カゴ車の受け払いを台帳管理



- ・手書きによる記入もれやミス発生
- ・記入担当者の確保が必要

後でまとめて入力すると、データ入力漏れが発生し、正しい器材管理ができない



- ・余剰器材の把握確認が難しく、無駄な購入が発生
- ・緊急で空のカゴ車を運搬してしまう

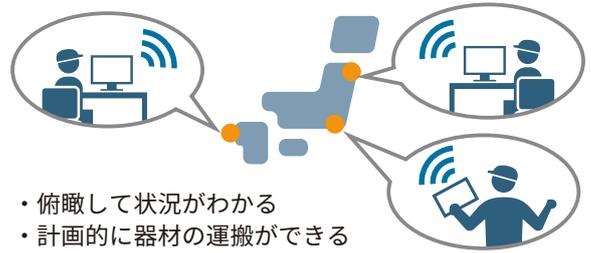
After

カゴ車に付けた RFID タグを読み取り、自動判別した受け払いデータをクラウドへ



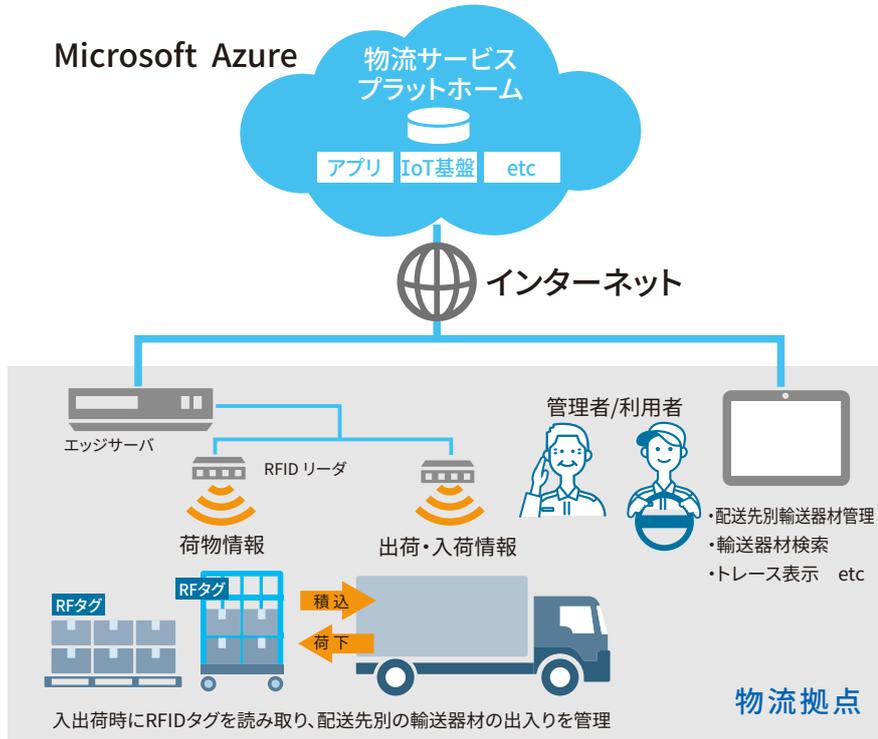
- ・記入もれやミスの心配なし
- ・システム入力不要なので記入担当者の確保も不要

全国の拠点から器材の所在・受け払い情報をリアルタイムに閲覧可能



- ・俯瞰して状況がわかる
- ・計画的に器材の運搬ができる

システム構成



主な機能

輸送器材一覧

輸送器材移動履歴

滞留輸送器材一覧

滞留器材アラート

ロケーション別輸送器材数一覧

データエクスポート

- LADOCsuite は東芝デジタルソリューションズ株式会社の日本またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft, Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。
- 本カタログの記載内容はお断りなしに変更することがあります。記載されている製品・数値および表現は2019年8月現在のものです。

東芝デジタルソリューションズ株式会社

流通・運輸サービスソリューション技術部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34

お問い合わせの際にご提供いただくお客様の個人情報は、お問い合わせへのご回答および内容の確認のみに利用させていただきます。
当社個人情報保護方針： <https://www.toshiba-sol.co.jp/privacy/>
LOG400@1908(1)ORI



商品情報ページ
<https://www.toshiba-sol.co.jp/industry/logitrace/>

© 2019 Toshiba Digital Solutions Corporation